

タイトル:応援は限界を越える力になる

エピソード要約

僕は会社を辞め『テニス選手』になりました。理由は『がんで余命宣告を受けた母を全日本に連れて行くため』です。小2から大学4年までテニスをしてきました。大卒後は営業職に就き2年半働きました。それを辞め選手になり、SNSでその活動を発信すると応援を沢山いただきました。この応援が僕の活動の栄養源なのです。僕は母のように闘病している人や、何か挑戦する勇気が一歩踏み出せない人に、勇気を届けたいです。

エピソード内容

突然ですがあなたは今『挑戦』していることはありますか？
僕には今、人生をかけて挑戦していることが1つあります。

それは『テニス全日本選手権』にがんの母を連れて行くことです。

そのために会社を辞めて選手になりました。
辞めるときもちろん賛否両論言われましたが、僕は決心していたので揺らぎませんでした。

この世界来ると結果が全て。
全て自己責任のシビアな世界です。

僕は母のように闘病している人や、何か挑戦する勇気が一歩踏み出せない人に、勇気や元気を届けたいと思うようになり活動をSNSで発信するようになりました。

すると毎回多くの『応援メッセージ』が届くようになりました。僕は全日本を目指して活動しているので、なんとしても『結果』を出さなければいけません。

そうになるとネガティブになったり、ナーバスになったり、弱気になったりもします。

そんな時に沢山の人が送ってくれた『がんばれよ！』のメッセージを見返しています。
見ていると『俺はこんなことでめげちゃダメだ！』と前を向けるんです。

すると気づけば母の為に始めた選手活動ですが『僕のことを応援してくれる人へ結果で恩返し』したいという気持ちも出てきました。

せっかく僕を応援してくれる素晴らしい人たちに『応援し損』にはされられません。
それに応援してもらうことは覚悟が必要です。途中でやっぱりや一めた。なんてできません。

僕は弱い人間なので後戻りができない断崖絶壁に自ら立たないと覚悟ができないので、そういった意味でもSNSで発信しているんです。

僕は必ず全日本に出て、結果を出します。

そしてテニス選手を引退した後、

今まで色々な人に応援していただいた恩を返す意味でも、自分で会社を起こして社会に貢献できる男になりたいと思っています。